

○宇都宮市第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画  
(平成18年度～20年度)における施策体系ごとの個別評価

基本目標1	健康ではつらつとした生活の実現	参考資料5
-------	-----------------	-------

施策の方向性	事業名	現状評価と主な課題					担当課
		指標名等	単位	項目	H18	H19	
(1) 健康づくりの推進	●健康づくりの実践活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該施策はおおむね充足されているが、今後も事業は継続していく。</li> </ul>					健康増進課
	健康づくり推進組織の設立地区数	地区	目標値	21	[22]		
			実績	18	22		
			達成率	85.7%	[100.0%]		
健康づくり推進員養成者数	人	目標値	720	[800]			
		実績	686	771			
		達成率	95.3%	[96.4%]			
健康交付手帳の交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正されたことに伴い、老人保健法に基づき交付していたものが、健康増進法に基づく対応となり、引き続き市民の健康管理意識の高揚を図る必要がある。</li> </ul>					健康増進課	
健康教育の実施(健康増進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値に対する実績値の結果から、当該施策は概ね充足されているが、40～64歳までの壮年期世代の参加者が少ないため、若い世代にも参加しやすい教室の開催など検討が必要である。</li> </ul>					健康増進課	
延開催回数	回	目標値	617	[620]			
		実績	675	670			
		達成率	109.4%	[108.1%]			
健康相談の実施(健康増進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行計画上の目標値に対し、平成19年度は大きく上回っているが、合併に伴い相談実施会場が増えたことに関係している。</li> <li>目標値に対する実績値の結果から、当該施策は概ね充足されているが、今後も広く周知を図っていく必要がある。</li> </ul>					健康増進課	
延実施回数	回	目標値	680	[685]			
		実績	813	899			
		達成率	119.6%	[131.2%]			
*延実施会場数	箇所	実績	16	18			
(2) 生活習慣病予防対策の推進	●健康診査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っている健診が多い状況である。</li> <li>受診率、受診者数の向上を図る必要がある。</li> <li>肝炎ウィルス検診については、平成18年度をもって事業終了予定であったが、平成19年度以降も実施している。</li> </ul>					健康増進課
基本健康診査受診率	%	目標値	32.9%	[33.4%]			
		実績	29.3%	29.2%			
		達成率	89.1%	[87.4%]			
" 受診人数	人	目標値	46,000	[47,540]			
		実績	40,296	45,184			
		達成率	87.6%	[95.0%]			

- 「目標値」は旧宇都宮市分
- 「実績」は、H18は旧宇都宮市分、H19は合併後旧1市2町合算の数値
- 「\*」の項目の実績は、計画上の指標ではないが、参考までに記載
- 事業内容が「再掲」のものについては、記載省略
- 「★」は主要施策、「●」は主要事業

基本目標1:健康ではつつとした生活の実現

施策の 方向性	事業名	現状評価と主な課題					担当課
		指標名等	単位	項目	H18	H19	
(2) 生活習慣病予防対策の推進	●健康診査の実施	胃がん検診受診率	%	目標値	11.7%	[14.1%]	健康増進課
				実績	9.5%	10.8%	
				達成率	81.2%	[76.6%]	
		" 受診人数	人	目標値	13,910	[16,860]	
				実績	11,509	14,494	
				達成率	82.7%	[86.0%]	
		大腸がん検診受診率	%	目標値	22.8%	[23.3%]	
				実績	23.0%	23.6%	
				達成率	100.9%	[101.3%]	
		" 受診人数	人	目標値	31,140	[32,210]	
				実績	31,530	36,096	
				達成率	101.3%	[112.1%]	
		肺がん検診受診率	%	目標値	33.7%	[35.9%]	
				実績	31.6%	31.8%	
				達成率	93.8%	[88.6%]	
		" 受診人数	人	目標値	39,040	[42,080]	
				実績	36,763	41,108	
				達成率	94.2%	[97.7%]	
		子宮がん検診受診率	%	目標値	11.3%	[11.6%]	
				実績	11.9%	12.4%	
				達成率	105.3%	[106.9%]	
" 受診人数	人	目標値	14,530	[15,070]			
		実績	14,435	16,617			
		達成率	99.3%	[110.3%]			
乳がん検診受診率	%	目標値	12.3%	[13.4%]			
		実績	11.7%	12.4%			
		達成率	95.1%	[92.5%]			
" 受診人数	人	目標値	13,920	[15,390]			
		実績	13,131	15,567			
		達成率	94.3%	[101.2%]			
前立腺がん検診受診率	%	目標値	37.4%	[39.5%]			
		実績	37.8%	37.2%			
		達成率	101.1%	[94.2%]			
" 受診人数	人	目標値	11,820	[12,680]			
		実績	11,934	13,175			
		達成率	101.0%	[103.9%]			
骨粗しょう症検診受診率	%	目標値	18.3%	[18.5%]			
		実績	26.2%	19.3%			
		達成率	143.2%	[104.3%]			
" 受診人数	人	目標値	3,660	[3,690]			
		実績	4,023	4,246			
		達成率	109.9%	[115.1%]			

基本目標1:健康ではつつとした生活の実現

施策の方向性	事業名	現状評価と主な課題					担当課	
		指標名等	単位	項目	H18	H19		
(2) 生活習慣病予防対策の推進	●健康診査の実施	歯科総合検診受診率	%	目標値	11.9%	[12.1%]	健康増進課	
				実績	4.3%	10.9%		
				達成率	36.1%	[90.1%]		
		" 受診人数	人	目標値	1,140	[1,180]		
				実績	908	3,069		
				達成率	79.6%	[260.1%]		
		肝炎ウイルス検診受診率	%	目標値	17.3%	-		
				実績	-	-		
				達成率	-	-		
		" 受診人数	人	目標値	6,880	-		
				実績	6,108	7,791		
				達成率	88.8%	-		
(●) 訪問指導の実施 (生活習慣病予防)	・ 現行計画上の目標値に対し、大きく下回っている。 ・ 健康診査受診後の要指導者を主な訪問対象者としていたが、基本健康診査が特定健診として保険者の義務になったことに伴い、対象者の見直しが必要である。	延訪問回数	回	目標値	420	[425]	健康増進課	
				実績	227	233		
				達成率	54.0%	[54.8%]		
(●) 健康教育の実施 (生活習慣病予防)	・ 目標値に対する実績値の結果から、当該施策は概ね充足されているが、40～64歳までの壮年期世代の参加者が少ないため、若い世代にも参加しやすい教室の開催など検討が必要である。	延開催回数	回	目標値	120	[110]	健康増進課	
				実績	86	140		
				達成率	71.7%	[127.3%]		
(●) 健康相談の実施 (生活習慣病予防)	・ 合併に伴い相談実施会場が増えたため、現行計画上の目標値に対し、平成19年度は大きく上回っている。 ・ 目標値に対する実績値の結果から、当該施策は概ね充足されているが、生活習慣病の予防に向け、より効果的な指導を行う必要がある。	延実施回数	回	目標値	610	[610]	健康増進課	
				実績	600	842		
				達成率	98.4%	[138.0%]		
(3) 介護予防の推進	●訪問指導の実施 (介護予防)	・ 平成18年度の制度改正によって事業の位置付け等が変わったことから、訪問対象者が減少しており、今後、対象者の把握に取り組む必要がある。 ・ 特定高齢者の早期発見・早期対応を図るため、関係機関等と連携強化を図り、地域の社会資源の活用を含めた効果的な支援について検討する必要がある。	延訪問回数	回	目標値	3,008	3,112	高齢福祉課
					実績	1,986	1,592	
					達成率	66.0%	51.2%	

基本目標1:健康ではつらつとした生活の実現

施策の方向性	事業名	現状評価と主な課題					担当課
		指標名等	単位	項目	H18	H19	
(3) 介護予防の推進	高齢者短期宿泊事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険対象外の高齢者を対象者としていることから、利用状況は大きく変わっていない。</li> <li>当該事業は介護保険制度における短期宿泊事業の空きベットを活用しているが、特別養護老人ホームの稼働率が高いことから、利用するベットの確保が困難な状況にある。</li> </ul>					高齢福祉課
	生きがいが実現対応型デイサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用施設の整備が進み、受入可能人数が利用希望見込人数に対し充足していることから、平成18年度から整備を見合わせている。今後、利用状況を見ながら対応していく。延利用回数は減少している。</li> <li>今後も介護保険対象外の高齢者の要介護状態への移行の予防のため事業を継続する。</li> </ul>					高齢福祉課
		専用施設数	箇所	目標値	25	[25]	
				実績	21	19	
				達成率	84.0%	[76.0%]	
		延利用回数	回	目標値	38,946	[38,879]	
				実績	26,211	25,908	
	達成率			67.3%	[66.6%]		
	在宅歯科診療の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅歯科診療事業対象者のうち、希望する者すべてに診療を実施している。</li> <li>歯科医院への通院が困難な65歳以上の在宅寝たきり者に対し、歯科診療を受ける機会を確保するために実施してきた事業であるが、最近では同様のサービスを実施する民間事業者も出てきており、市の役割を整理する必要がある。</li> </ul>					健康増進課

基本目標2:生きがいのある生活の実現

**基本目標2** **生きがいのある生活の実現**

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課	
			指標名	単位	項目	H18	H19		
(1) 生きがいづくりの推進	① 生きがいづくりの充実	実々老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね順調に推移している。</li> <li>利用者のニーズに添った講座を開催する等、実施事業の充実を図りながら、施設利用者の促進を図る必要がある。</li> </ul>	*延利用者数	人	実績	242,188	247,774	高齢福祉課
		のセ茂原健康交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに添った講座を開催する等、実施事業の充実を図りながら、施設利用者の促進を図る必要がある。</li> </ul>	*延利用者数	人	実績	184,712	178,093	高齢福祉課
	② 敬老事業の実施	実の米施お祝い白寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均寿命の伸張に伴い、対象者が年々増加にあるため、敬老事業全体のあり方を整理し、平成18年度をもって事業を廃止した。</li> </ul>	*米寿(88歳)お祝い対象者	人	実績	956		高齢福祉課
				*白寿(99歳)お祝い対象者	人	実績	55		
		開敬老支会援の	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者人口増に伴い増加している。</li> <li>参加者数の増加を図り継続実施する。</li> </ul>	*敬老会参加者数	人	実績	35,317	42,099	高齢福祉課
		敬老祝金の贈呈	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者人口増に伴い増加している。</li> <li>事業の継続実施する。</li> </ul>	*敬老祝金対象者	人	80歳到達者	2,634	2,825	高齢福祉課
	90歳到達者	717	889						
	100歳到達者	37	38						
	支③老人クラブ活動の育成・	単位の活老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、クラブ数、会員数ともに減少し続けていたが(平成19年度は合併による増)、平成20年度は、加入促進の強化を図ったことにより、会員数が20,416人(クラブ数368)と増加している。</li> <li>単位老人クラブの活動を活性化し、会員の加入促進を図る。</li> </ul>	*単位老人クラブ数	クラブ	実績	371	384	高齢福祉課
		*老人クラブ会員数	人	実績	18,282	18,861			
	支連合老人クラブの	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、クラブ数、会員数ともに減少し続けていたが(平成19年度は合併による増)、平成20年度は、加入促進の強化を図ったことにより、会員数が20,416人と増加している。</li> <li>宇都宮市老人クラブ連合会の運営の充実強化を図る。</li> </ul>						高齢福祉課	
	④ 生涯学習のための環境の整備	充学実習機会の	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センターにおける生きがいづくり講座や市民大学などが充実しているほか、生涯学習センターや地域コミュニティセンター、図書館、美術館、城址公園等の学習施設の整備・機能充実が図られており、高齢者が参加できる学習機会は充実してきている。</li> <li>今後も講座の内容充実や、施設・機能の整備など、学習機会の拡充を図るとともに、自主学习グループや団体の育成等、活動支援に努める。</li> </ul>						生涯学習課
供学談の学習情報提供の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報提供システム(マナビス)の充実や、各種パンフレットの作成・配付により、情報提供の充実を図ったほか、生涯学習指導員による学習相談を継続して実施した。</li> <li>今後も学習情報提供・学習相談の充実を努める。</li> </ul>						生涯学習課	
の会学に活かす機会を		<ul style="list-style-type: none"> <li>「生涯学習コーディネーター」の養成に取り組み、市民運営講座を実現させたほか、学校支援ボランティア「街の先生」と「マナビス」の連携による人材リストの活性化などを行った。</li> <li>今後も生涯学習コーディネーターの養成等に継続して取り組むほか、学習企画者と指導者の交流の場となる「地域教育メッセ」を開催するなど、学習成果を社会に活かす機会の拡大に努める。</li> </ul>						生涯学習課	

基本目標2:生きがいのある生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課	
			指標名	単位	項目	H18	H19		
(1) 生きがいづくりの推進	⑤文化活動のための環境の整備	発表機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化会館などを中心に、宇都宮市民芸術祭、百人一首市民大会等、各種文化振興施策を展開しており、高校生～社会人、高齢者まで幅広い年齢層の発表機会の充実を図っている。</li> <li>・展開する催しへの新規参加者が少なく、参加者の固定化がみられる。</li> </ul>					(生涯学習課) 文化課	
		人材の登録と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市文化協会の会員が、文化芸術、伝統芸能等の各分野において、学校への出前授業（ふれあい文化教室）、地域還元（文化協会祭り、チャリティ作品展等）を行っている。また、文化財解説ボランティア養成講座を開設し、毎年10名以上の受講者が文化財ボランティアとして育成され（現在約130名が登録）、栃木県シルバー大学の講師として、将来のボランティア希望の受講生に知識・経験を伝えていくという活動を行っている。</li> <li>・講師となるボランティアの知識標準化のための自主的研修の方法と評価方法を確立する必要があるほか、新たな活動場所を発掘する必要がある。</li> </ul>					(生涯学習課) 文化課	
		地域文化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛護会や学校による地域の文化財保護活動や、文化財ボランティアによる解説、伝統文化連絡協議会を構成している団体による生活文化、民話などの伝承活動を実施している。</li> <li>・伝統文化連絡協議会の会員増加を目指し、構成団体の連携を援助することにより、人的ニーズを把握するシステムの構成を図る必要がある。また、文化財の保護活動が特定の団体のみでの活動でなく、多くの地域住民が様々な形態で参加できるような、裾野が広く継続的な活動になるためのシステムを構築する必要がある。</li> </ul>					(生涯学習課) 文化課	
	⑥生涯スポーツ活動の推進	確保	スポーツ活動の機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地域スポーツクラブとして、泉が丘地区の「友遊いずみクラブ」と、河内地区の「スポーツかわち」の2つのクラブがあり、高齢者から小中学生まで大勢の市民が、教室やサークル活動などスポーツに親しんでいる。また、新規クラブの設立に向け、各地区に出向き説明会等を実施している。</li> <li>・自主的なクラブ設立に向け、体育協会、体育指導委員等への説明や個別地区への説明会を実施するとともに、中心となる人材の発掘、育成を進める必要がある。</li> </ul>					(スポーツ振興課) 高齢福祉課
		充実	高齢者向けスポーツ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まで親しめるニュースポーツを普及するため、ファミリーバドミントン大会等の開催や各種ニュースポーツ用具の無料貸出しを実施している。</li> <li>・より市民が自発的にいつでも気軽にニュースポーツに取り組めるよう、総合的なスポーツ情報を提供するためのシステム構築や、各種ニュースポーツ用具の貸出物品の充実を図る必要がある。</li> </ul>					(スポーツ振興課) 高齢福祉課
		推進	スポーツ教室の推進と指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ活動の充実と競技スポーツの振興を目的に、市体育協会などのスポーツ団体の活動を支援するとともに、スポーツ指導者の資質向上のために各種研修会を開催した。また、体育文化振興公社主催によるスポーツ教室も高齢者向けの講座を充実するなど、多種目にわたり開催された。</li> <li>・市体育協会などスポーツ団体が、より主体的に活動できるよう自立を促す。また、より多くの市民がスポーツに親しめるよう、市民ニーズに沿った教室の開催や指導者の育成に努める必要がある。</li> </ul>					(スポーツ振興課) 高齢福祉課
		実施	高齢者スポーツの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も計画的な補助を行い、設置か所の拡大を図り事業を継続する。</li> </ul>					(スポーツ振興課) 高齢福祉課
				補助件数（累計）	件	目標値	4 (19)	[4 (23)]	
						実績	4 (19)	2 (21)	
						達成率	100.0%	[50.0%]	

基本目標2:生きがいのある生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課	
			指標名	単位	項目	H18	H19		
(2) 社会参画の促進	① 高齢者の外出支援の充実	● 高齢者外出支援事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順調に推移している。</li> <li>・事業の拡充に取り組むとともに、今後も引き続き制度の周知を図り、事業を継続する。</li> </ul>						高齢福祉課
			専用バスカード利用者数	人	目標値	6,408	[6,700]		
					実績	6,433	7,492		
					達成率	100.4%	[111.8%]		
	② シルバーの育成・支援	ボランティア養成講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状においては、シルバーに限定したボランティアの講座は実施しておらず、広く市民に向けたボランティア活動についての情報提供・コーディネートにとどまっている。(18年度までは実施)</li> <li>・団塊の世代を取り込んだ社会参加の機会としての各種ボランティアについて、広く情報を提供し、ボランティアに対する意識の向上を目指し、持ち前の知識や技術をボランティア活動に活かしていけるよう、福祉人材の育成及び継続したボランティア活動の促進を促進する。</li> </ul>						(社) 高齢福祉協議会
	③ シルバー人材センターの支援	就業機会の拡大と会員確保 無料職業紹介事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね順調に推移している。</li> <li>・高齢者の就業感が多様化しているため、これらに応えられるよう職域の拡大を図る必要がある。</li> </ul>						高齢福祉課
			*就業延人員	人	実績	100,564	130,179		
			*契約金額	千円	実績	452,552	624,235		
	④ 高齢者の就業支援・相談事業の充実	公共職業安定所(ハローワーク)との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の就業支援のため、公共職業安定所(ハローワーク)など関係機関との、求人情報や就業のための講座などの各種情報を交換・共有し、事業を実施している。</li> <li>・引き続き公共職業安定所(ハローワーク)や県などとの情報交換を行い、効果的かつ効率的な高齢者の就労支援・相談事業のさらなる充実を図る。</li> </ul>						商工振興課
	⑤ 高齢者能力の活用促進	高齢者の地域活動実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー大学卒業生への周知等により、徐々に設置数が増加している。</li> <li>・更なる設置数の増加を図り、地域の高齢者の生きがいづくりを進めるとともに、社会参加を促進する。</li> </ul>						高齢福祉課
			延設置箇所数	箇所	目標値	9	[13]		
					実績	1	2		
					達成率	11.1%	[15.5%]		

基本目標3:安心して自立した生活の実現

○第3期介護保険事業計画実績評価表

**基本目標3** **安心して自立した生活の実現**

担当課:高齢福祉課

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★ (1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	2 居宅サービス	居宅介護支援（居宅サービス計画の作成）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年度実績は計画値を上回ったが、介護保険制度改正により、新予防給付サービスが創設され、予防支援者への転換もあり19年度では実績が計画値を下回っている。</li> <li>・今後も適切な居宅サービス計画の作成が重要であることから、居宅介護支援専門員に対する研修会等による育成支援が重要である。</li> </ul>				
			利用者数	人/年	目標値	57,850人	65,736人
					実績	70,559人	65,120人
					達成率	122.0%	99.1%
			訪問介護（ホームヘルプサービス）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績については、平成18年度から平成19年度にかけて減少しているが、目標値に対する達成率については、実績が上回っていることからサービスに対する需要は高い。</li> <li>・利用者の心身の状況に即した適正な給付を図る必要がある。</li> </ul>				
			利用回数	回/年	目標値	380,913回	415,329回
					実績	536,832回	487,431回
					達成率	140.9%	117.4%
訪問入浴介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね順調に推移している。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	10,062回	10,786回			
		実績	10,706回	10,396回			
		達成率	106.4%	96.4%			
訪問看護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績が伸びており、サービス需要は高い。</li> <li>・訪問看護により提供されるリハビリテーションに制限があることから、代替可能である他のリハビリテーションサービスの現状を踏まえ、適切なサービス基盤の整備を図る必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	29,307回	30,853回			
		実績	34,637回	40,300回			
		達成率	118.2%	130.6%			
訪問リハビリテーション							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績が伸びており、サービス需要は高い。</li> <li>・代替可能である他のリハビリテーションサービスの現状を踏まえ、適切なサービス基盤の整備を図る必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	324回	352回			
		実績	497回	593回			
		達成率	153.4%	168.5%			
居宅療養管理指導							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績が伸びており、サービス需要は高い。</li> <li>・要介護認定者の在宅介護を支えるために、適正な利用を図る必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	3,856人	4,005人			
		実績	4,783人	4,919人			
		達成率	124.0%	122.8%			
通所介護（デイサービス）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績については、平成18年度から平成19年度にかけて減少しているが、目標値に対する達成率については、実績が大きく上回っていることからサービスに対する需要は高い。</li> <li>・安定した供給量の確保が必要である。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	266,587回	287,659回			
		実績	348,708回	337,475回			
		達成率	130.8%	117.3%			



基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★ (1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	2 居宅サービス	通所リハビリテーション（デイケア）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね順調に推移している。</li> <li>代替可能である他のリハビリテーションサービスの現状を踏まえ、適切なサービス基盤の整備を図る必要がある。</li> </ul>				
			利用回数	回/年	目 標 値	48,375回	51,531回
					実 績	52,058回	51,129回
					達 成 率	107.6%	99.2%
			短期入所生活介護（ショートステイ）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人福祉施設の整備に合わせサービス提供量が増加したことから、実績が大きく伸びている。</li> <li>サービス需要は高いことから、安定した供給量の確保が必要である。</li> </ul>				
			利用日数	日/年	目 標 値	46,072日	48,281日
					実 績	63,573日	70,743日
					達 成 率	138.0%	146.5%
短期入所療養介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度は平成19年度に比べ利用日数が減少した。</li> <li>介護療養型医療施設の指定辞退によりサービス提供基盤が減少した。</li> <li>介護療養型医療施設の制度廃止を見据えた、代替サービスの確保を図る必要がある。</li> </ul>							
利用日数	日/年	目 標 値	9,457日	10,344日			
		実 績	7,808日	6,484日			
		達 成 率	82.6%	62.7%			
特定施設入所者生活介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>実績が伸びており、サービス需要は高い。</li> <li>ケアハウスや有料老人ホームなど多様な住まいに対応するため、居住系サービスの整備進捗に伴い特定施設の指定を受ける事業者は増加しているが、要支援など軽度認定者による利用の割合が高い。</li> <li>適正なサービスの基盤整備を図る必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目 標 値	2,220人	3,096人			
		実 績	1,252人	1,442人			
		達 成 率	56.4%	46.6%			
福祉用具貸与							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度は実績が目標値を上回ったが、平成19年度は実績が計画値を下回った。</li> <li>制度改正に伴い、要介護認定区分に応じ対象種目に違いがあるが、軽度認定者であっても心身の状況により貸与可能な場合もあることから、利用者や家族等に対する制度の周知を図る必要がある。</li> <li>本人の心身状況に即した適切なサービス提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目 標 値	30,427人	33,289人			
		実 績	30,895人	28,683人			
		達 成 率	101.5%	86.2%			
特定福祉用具販売							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度は実績が目標値を上回ったが、平成19年度は実績が計画値を下回った。</li> <li>本人の心身状況に即した適切なサービス提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目 標 値	1,179人	1,299人			
		実 績	1,316人	1,160人			
		達 成 率	111.6%	89.3%			
住宅改修							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度は実績が目標値を上回ったが、平成19年度は実績が計画値を下回った。</li> <li>適正な住宅改修が行われるよう、申請時に必要となる「理由書」の作成者に対する研修等の充実を図る必要がある。</li> <li>着工後の現地確認等の実施により、本人の心身状況に即した適切なサービス提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目 標 値	779人	873人			
		実 績	1,036人	635人			
		達 成 率	133.0%	72.7%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	3 新予防給付サービス	介護予防居宅介護支援（新予防給付のサービス計画の作成）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>実績が大きく下回っているが、利用者は着実に増加している。</li> <li>利用者の心身の状況に応じた、生活機能の維持・向上を目指した適正な計画作成が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>				
			利用者数	人/年	目標値	34,464人	39,272人
					実績	8,979人	21,597人
					達成率	26.1%	55.0%
			介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者は着実に増加している。</li> <li>利用者の個別性を踏まえた適切なサービスの提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>				
			利用回数	回/年	目標値	128,863回	148,500回
					実績	25,394回	63,370回
					達成率	19.7%	42.7%
介護予防訪問リハビリテーション							
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>利用者の個別性を踏まえた短期集中的なサービスが適切に提供されているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	13回	18回			
		実績	0回	8回			
		達成率	0.0%	44.4%			
介護予防訪問入浴介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>感染症等の理由により、代替サービスの利用が困難であるかなど、適切なサービスの提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	288回	382回			
		実績	31回	48回			
		達成率	10.8%	12.6%			
介護予防訪問看護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者は着実に増加している。</li> <li>主治医などと連携し、利用者の基礎疾患等を把握し生活機能の向上に資する適切なサービスの提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	2,381回	2,891回			
		実績	344回	1,351回			
		達成率	14.4%	46.7%			
介護予防居宅療養管理指導							
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者は着実に増加している。</li> <li>主治医などと連携し、利用者の基礎疾患等を把握し生活機能の向上に資する適切なサービスの提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	553人	541人			
		実績	101人	264人			
		達成率	18.3%	48.8%			
介護予防通所介護（デイサービス）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>実績が大きく上回っており、サービス需要は高い。</li> <li>安定した供給量の確保が必要である。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	17,639回	20,467回			
		実績	19,858回	52,004回			
		達成率	112.6%	254.1%			
介護予防通所リハビリテーション（デイケア）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度は平成18年度に比べ、利用回数が減少した。</li> <li>利用者の個別性を踏まえた、適切かつ短期集中的なサービスの提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	3,496回	4,637回			
		実績	1,925回	1,106回			
		達成率	55.1%	23.9%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1)介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	3 新予防給付サービス	介護予防短期入所生活介護				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は着実に増加している。</li> <li>・サービス利用期間中に生活機能の低下を来たすことがないよう、施設において生活機能の維持・向上に向けた適切な支援が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>				
			利用日数	日/年	目標値	2,658日	3,060日
					実績	490日	1,237日
					達成率	18.4%	40.4%
			介護予防短期入所療養介護				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>・介護療養型医療施設の制度廃止を見据えた、代替サービスの確保を図る必要がある。</li> </ul>				
		利用日数	日/年	目標値	669日	731日	
				実績	33日	40日	
				達成率	4.9%	5.5%	
		介護予防特定施設入所者生活介護					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績が大きく上回っており、サービス需要は高い。</li> <li>・安定した供給量の確保が必要である。</li> </ul>					
		利用者数	人/年	目標値	72人	72人	
				実績	156人	484人	
		達成率	216.7%	672.2%			
介護予防福祉用具貸与							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は着実に増加している。</li> <li>・制度改正に伴い、要介護認定区分に応じ対象種目に違いがあるが、軽度認定者であっても心身の状況により貸与可能な場合もあることから、利用者や家族等に対する制度の周知を図る必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	7,031人	8,148人			
		実績	609人	1,830人			
		達成率	8.7%	22.5%			
介護予防特定福祉用具販売							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>・本人の心身状況に即した適切なサービス提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	488人	540人			
		実績	146人	347人			
		達成率	29.9%	64.3%			
介護予防住宅改修							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は着実に増加している。</li> <li>・本人の心身状況に即した適切なサービス提供が行われているか検証する必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	422人	474人			
		実績	148人	288人			
		達成率	35.1%	60.8%			
4 地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>・事業者説明会や公募の実施により、事業者の参入を誘導してきたが、計画値を達成するまでの応募がなかった。</li> <li>・日常生活圏域におけるサービス利用が必要な要介護者が、適切にサービスを利用できるよう基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>						
	利用者数	人/年	目標値	1,834人	2,108人		
		実績	22人	446人			
		達成率	1.2%	21.2%			
介護予防小規模多機能型居宅介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域におけるサービス利用が必要な要支援者が、適切にサービスを利用できるよう基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	1,047人	1,204人			
		実績	0人	82人			
		達成率	0.0%	6.8%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	4 地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者説明会や公募の実施により、事業者の参入を誘導してきたが、計画値を達成するまでの応募がなかった。</li> <li>日常生活圏域におけるサービス利用が必要な要介護者が、適切にサービスを利用できるよう基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>				
			利用者数	人/年	目標値	2,120人	2,168人
					実績	0人	0人
					達成率	0.0%	0.0%
			利用回数	回/年	目標値	28,690回	30,294回
		実績			0回	0回	
		達成率			0.0%	0.0%	
		認知症対応型共同生活介護（グループホーム）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者の増加に伴う、需要の増加が見込まれる。</li> <li>認知症高齢者の症状に合わせた適切なケアが提供されるよう、サービスの質の向上とともに、日常生活圏域毎の状況に即した適切なサービスの基盤整備を推進する必要がある。</li> </ul>					
		利用者数	人/年	目標値	2,940人	3,240人	
				実績	2,616人	2,607人	
				達成率	89.0%	80.5%	
		介護予防認知症対応型共同生活介護					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>日常生活圏域におけるサービス利用が必要な要支援者が、適切にサービスを利用できるよう基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>					
		利用者数	人/年	目標値	108人	120人	
				実績	10人	27人	
				達成率	9.3%	22.5%	
認知症対応型通所介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>実績が大きく伸びており、サービス需要は高い。</li> <li>認知症高齢者の増加に伴い、更なる需要の増加が見込まれることから、日常生活圏域毎の状況に即した、適切なサービスの基盤整備を推進する必要がある。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	8,135回	8,485回			
		実績	14,569回	17,062回			
		達成率	179.1%	201.1%			
介護予防認知症対応型通所介護							
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>日常生活圏域におけるサービス利用が必要な要支援者が、適切にサービスを利用できるよう基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>							
利用回数	回/年	目標値	1,710回	1,760回			
		実績	5回	63回			
		達成率	0.3%	3.6%			
5 施設・居住系サービス	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設サービスが必要な要介護者が、適切にサービスを利用できるよう、地域密着型サービスの基盤整備と連携した適切な施設の基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>						
	利用者数	人	目標値	1,130人	1,242人		
			実績	1,160人	1,157人		
			達成率	102.7%	93.2%		
	介護老人保健施設						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回っているが、実績は伸びている。</li> <li>施設サービスが必要な要介護者が、適切にサービスを利用できるよう、地域密着型サービスの基盤整備と連携した適切な施設の基盤整備の推進が必要である。</li> </ul>						
	利用者数	人	目標値	899人	998人		
			実績	812人	901人		
達成率			90.3%	90.3%			
介護療養型医療施設							
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護療養型医療施設の制度廃止を見据え、代替サービスの確保を図る必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人	目標値	496人	498人			
		実績	355人	349人			
		達成率	71.6%	70.1%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の 方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指 標	単 位	項 目	H18	H19
★ (1) 介護保険事業の 推進	3 介護保険サ ービスの提 供	6 市町村 特別給付	市町村特別給付（紙おむつ購入費の支給）				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>実績が大きく上回っており，サービス需要は高い。</li> <li>制度の適切な利用を促進する必要がある。</li> </ul>				
			利用者数	人／年	目 標 値	15,115人	16,052人
					実 績	20,684人	23,072人
		達 成 率	136.8%	143.7%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の 方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指 標	単 位	項 目	H18	H19
★(1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	7 地域支援事業	介護予防事業				
			特定高齢者施策				
			特定高齢者把握				
			・基本健康診査以外の把握ルートの確立及び関係機関との連携を図る必要がある。				
			特定高齢者数	人/年	目 標 値	4,162人	4,917人
					実 績	473人	1,047人
					達 成 率	11.4%	21.3%
			通所型介護予防事業				
			介護予防教室				
			・小学校区に1か所を目標に、地域包括支援センターを運営する法人に委託し,市内57会場で実施。 ・参加者の固定化及び事業内容が膠着化していることから、効果的な事業内容等について検討する必要がある。				
			実施回数	回/年	目 標 値	1,000回	1,200回
					実 績	762回	807回
					達 成 率	76.2%	67.3%
			年間実人数	人	目 標 値	1,180人	1,239人
					実 績	1,291人	1,160人
		達 成 率	109.4%	93.6%			
介護予防栄養改善事業							
・介護サービス事業者に委託し、H19は総合型(栄養・口腔・運動器各事業の一体化)として実施している。 ・効果的な事業内容の検討や専門職の確保と併せ、参加者の発掘が必要である。							
実施回数	回/年	目 標 値	41回	64回			
		実 績	6回	30回			
		達 成 率	14.6%	46.9%			
年間実人数	人	目 標 値	87人	148人			
		実 績	4人	35人			
		達 成 率	0.0%	23.6%			
介護予防口腔機能の向上事業							
・介護サービス事業者に委託し、H19は総合型(栄養・口腔・運動器各事業の一体化)として実施している。 ・効果的な事業内容の検討や専門職の確保と併せ、参加者の発掘が必要である。							
実施回数	回/年	目 標 値	39回	60回			
		実 績	0回	30回			
		達 成 率	0.0%	50.0%			
年間実人数	人	目 標 値	87人	148人			
		実 績	0人	35人			
		達 成 率	0.0%	23.6%			
介護予防運動器の機能向上事業							
・介護サービス事業者に委託し、H19は総合型(栄養・口腔・運動器各事業の一体化)として実施している。 ・効果的な事業内容の検討や専門職の確保と併せ、参加者の発掘が必要である。							
実施回数	回/年	目 標 値	92回	144回			
		実 績	10回	30回			
		達 成 率	10.9%	20.8%			
年間実人数	人	目 標 値	100人	177人			
		実 績	5人	35人			
		達 成 率	5.0%	19.8%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	7 地域支援事業	訪問型介護予防事業				
			食の自立支援事業(配食サービス)				
			・特定高齢者で、低栄養状態の者に対して配食サービスを実施する事業であるが、特定高齢者のうち、事業対象となる者が出現しなかったことから、食の自立支援事業のあり方について検討を行う必要がある。				
			対象者数	人/年	目標値	200人	210人
					実績	0件	0件
					達成率	0.0%	0.0%
			延実施回数	回/年	目標値	30,000回	30,900回
					実績	0回	0回
					達成率	0.0%	0.0%
			訪問指導事業				
			・特定高齢者のうち、通所型介護予防事業では対応困難な者に対し、本市看護師による個別訪問により、心身状態の維持・改善に向けた取り組みを実施している。 ・効果的な事業内容の検討や専門職の確保と併せ、参加者の発掘が必要である。				
			対象者数	人/年	目標値	807人	838人
					実績	26人	56人
					達成率	3.2%	6.7%
			一般高齢者施策				
介護予防普及啓発事業							
介護予防普及啓発リーフレットの作成・配布							
・介護予防事業参加者及び地域包括支援センター等を通じて配布している。 ・広く市民へ配布できるよう関係機関との協力を図る必要がある。							
*リーフレット等冊数	冊/年	実績	26,000部	79,500部			
介護予防手帳の作成・配布							
・特定高齢者及び介護予防事業参加者に配布している。 ・介護予防手帳の効果的な利用を計るため、関係機関との連携を図る必要がある。							
*介護予防手帳冊数	冊/年	実績	300冊	4,000冊			
健康相談(65歳以上対象)							
・地区市民センター、保健センター等で実施している。 ・特定高齢者把握事業、地域包括支援センター、介護予防事業との連携が必要である。							
*実施回数	回/年	実績	239回	211回			
健康教育(65歳以上対象)							
・地区市民センター、保健センター等で実施している。 ・特定高齢者把握事業、地域包括支援センター、介護予防事業との連携が必要である。							
*実施回数	回/年	実績	466回	406回			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1)介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	7 地域支援事業	包括的支援事業				
			地域包括支援センターの設置・運営				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活圏域毎にセンターを設置している。</li> <li>地域住民の心身の健康保持及び生活の安定、保健・福祉・医療の連携強化を図るため、センターの機能強化と職員の資質向上を図る必要がある。</li> </ul>				
			地域包括支援センター整備箇所数	箇所数	目標値	23	23
					実績	25	25
					達成率	108.7%	108.7%
			任意事業				
			介護給付費用等適正化事業				
			介護給付費通知事業				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者に利用したサービスの内容や支払った費用について通知することで、自らがサービスについて確認し、適正なサービス利用について意識啓発を図るとともに介護報酬請求の不正・不適正請求の防止を図る。</li> <li>通知後、特に利用者からの問い合わせも無いことから、この事業については適切な利用が図られていると評価する。</li> <li>今後はより有効な事業とするために取り組み内容の分析を図るとともに、費用対効果を含め方法について検討する必要がある。</li> </ul>				
			年間通知回数	回/年	目標値	1回	2回
					実績	0回	2回
					達成率	0.0%	100.0%
			家族介護支援事業				
			家族介護教室				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター担当エリア毎に年1回、地域包括支援センターを運営する法人に委託し実施している。</li> <li>介護者ニーズに応じた効果的な事業内容の検討及び関係機関と協力し参加者を発掘する必要がある。</li> </ul>				
			年間実施回数	回/年	目標値	31回	32回
		実績	17回	25回			
		達成率	54.8%	78.1%			
年間実人数	人/年	目標値	530人	550人			
		実績	352人	362人			
		達成率	66.4%	65.8%			
はいかい高齢者家族支援サービス事業							
<ul style="list-style-type: none"> <li>類似の機能を有する他サービスが充実してきていることから、事業の実施方法を検討する必要がある。</li> </ul>							
実利用人数	人/年	目標値	16人	18人			
		実績	3人	2人			
		達成率	18.8%	11.1%			
家族介護継続支援事業							
在宅高齢者家族介護慰労金の支給							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に制度改正を実施したことに伴い、旧制度対象者については平成20年度から新たに申請が可能になるため、平成20年度以降の申請者数の増加が見込まれる。</li> </ul>							
受給者数	人/年	目標値	1,114人	1,053人			
		実績	1,056人	1人			
		達成率	94.8%	0.1%			



基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題				
			指標	単位	項目	H18	H19
★(1) 介護保険事業の推進	3 介護保険サービスの提供	7 地域支援事業	その他の事業				
			成年後見制度利用支援事業				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな機会を捉え、成年後見制度の利用促進のための周知活動を実施している。</li> <li>市長申立ての適用範囲を明確にする必要がある。</li> </ul>				
			利用件数	件/年	目標値	2件	3件
					実績	0件	0件
					達成率	0.0%	0.0%
		生活援助員派遣関連事業（シルバーハウジング）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>的確な事業展開を図るため、設備担当課等との役割分担や事業についての共通認識を図る必要がある。</li> </ul>					
		利用世帯数	世帯/年	目標値	113世帯	121世帯	
				実績	105世帯	122世帯	
		達成率	92.9%	100.8%			
延実施回数	回/年	目標値	41,245回	44,165回			
		実績	37,678回	41,432回			
		達成率	91.4%	93.8%			
食の自立支援事業（配食サービス）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントを実施し、「食」の自立支援の観点から配食サービスを提供してきた。</li> <li>自立支援のための「食」の調達方法や利用期間の制限等、制度全般の見直しの必要がある。</li> </ul>							
利用者数	人/年	目標値	720人	740人			
		実績	987人	655人			
		達成率	137.1%	88.5%			
延実施回数	回/年	目標値	112,300回	115,700回			
		実績	149,233回	135,799回			
		達成率	132.9%	117.4%			
8 事業費の見込み		総事業費					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画値に対し、実績が若干下回っている。</li> <li>介護予防サービスの適正な利用の促進や、地域支援事業による介護予防事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>					
			千円	目標値	18,775,322千円	20,630,384千円	
				実績	16,483,941千円	17,183,506千円	
				達成率	87.8%	83.3%	
		標準保険給付費	千円	目標値	18,407,872千円	20,169,090千円	
				実績	16,168,634千円	16,830,197千円	
				達成率	87.8%	83.4%	
		市町村特別給付費	千円	目標値	51,777千円	53,659千円	
				実績	74,199千円	83,445千円	
		達成率	143.3%	155.5%			
地域支援事業費	千円	目標値	367,450千円	461,294千円			
		実績	315,307千円	353,309千円			
		達成率	85.8%	76.6%			
介護予防事業	千円	目標値	91,760千円	159,399千円			
		実績	41,694千円	51,414千円			
		達成率	45.4%	32.3%			
包括的支援事業	千円	目標値	241,181千円	263,430千円			
		実績	240,021千円	263,430千円			
		達成率	99.5%	100.0%			
任意事業	千円	目標値	34,509千円	38,465千円			
		実績	33,592千円	38,465千円			
		達成率	97.3%	100.0%			

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					
			指標	単位	項目	H18	H19	
★(1) 介護保険事業の推進	4 事業の円滑な実施のための方策	1 サービス提供体制の充実	心身の状態に応じたサービス利用の支援					
			地域包括支援センターの設置・事業の推進 ・日常生活圏域毎にセンターを設置している。 ・地域住民の心身の健康保持及び生活の安定、保健・福祉・医療の連携強化を図るため、センターの機能強化と職員の資質向上を図る必要がある。					
			サービス計画の作成支援 ・年数回、居宅介護支援専門員に対する研修会を開催し、技術向上を図っている。 ・引き続き居宅介護支援専門員の質の向上を図るために、専門的な研修内容になるよう充実を図る必要がある。					
			サービス情報の提供 ・介護サービス利用者や家族が身近な場所で介護サービス事業者の情報が得られるよう、介護認定申請時における介護保険事業者名簿の配布やホームページによる介護サービス事業者情報の提供を実施している。 ・いつでも情報が得られるよう市ホームページへのサービス種類ごとの事業者名簿掲載などに取り組む必要がある。					
			*介護保険の手引き作成冊数	冊/年	実	績	9,000冊	10,000冊
			*サービス事業者名簿作成冊数	冊/年	実	績	3,000冊	3,000冊
			サービス利用の支援策の充実 ・出前福祉講座等において、サービスの適正な利用方法について説明を実施した。					
			*出前福祉講座実施回数(介護保険に関すること)	回/年	実	績	6回	6回
			地域ケア会議の活用 ・高齢者等の多様なニーズに的確に対応できるような仕組み作りの一環として、地域包括支援センターを中心に、自治会役員・民生委員・児童委員など地域の状況を十分に把握している機関と連携し、高齢者等の多様なニーズに的確に対応できるような仕組み作りの一環として「地域会議」を実施している。 ・地域会議については、日常生活圏域毎に開催回数異なるなど内容に偏りがあることから、生活圏域毎に積極的な開催が行われるよう、働きかけを行っていく必要がある。					
			*開催回数	回/年	実	績	110回	138回
より質の高いサービスを利用できる環境づくり								
地域密着型サービス事業者に対する指定・指導監査の実施 ・介護保険制度改正に伴い、地域密着型サービスについては市町村に指定及び指導監督権限が付与されたことから、平成19年度において、対象となる66事業者に対し、27事業所(41%)の実地指導を実施し、適正な指導が実施できた。 ・平成20年度には、栃木県より地域密着型サービス以外の介護サービス事業者等についても、事業者の指定及び指導等事務の権限が移譲されることから、介護サービスのより一層の質の向上及び保険給付の適正化を図ることを目的に、介護サービス事業者等への適切な指導・監査を実施する必要がある。								
*実地指導訪問件数	件/年	実	績	0件	27件			
サービスの評価 ・介護保険制度改正に伴い、「介護サービス情報の公表」が義務付けられたことから、栃木県が同情報の公表を実施している。 ・ホームページなどの広報媒体を活用した公表結果の提供を図る必要がある。								

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					
			指標	単位	項目	H18	H19	
★(1)介護保険事業の推進	4 事業の円滑な実施のための方策	1 サービス提供体制の充実	事業者の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業者研修会やサービス事業者研修会等を適宜開催している。</li> <li>・居宅介護支援事業者連絡協議会や介護サービス事業者連絡協議会における研修会等への講師派遣や情報提供などを実施。</li> <li>・両連絡協議会とも加入者数が少ないことから、加入促進を図る必要がある。</li> </ul>				
				*居宅介護支援事業者研修会開催回数	回/年	実績	4回	4回
				*サービス事業者研修会開催回数	回/年	実績	2回	2回
			サービス利用実態の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険利用者実態調査」、「サービス事業者実態調査」、「指定介護老人福祉施設入所申込者調査」を実施している。</li> <li>・各種調査結果について分析を行い、サービスの利用ニーズや事業者等の参入意向等についての確に把握する必要がある。</li> </ul>				
			必要なサービス量の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期介護保険事業計画期間における地域密着型サービス事業などの施設整備が計画通りに進んでいない。</li> <li>・地域密着型サービスの利用ニーズを的確に把握し、事業者等に対し、供給量の不足しているサービスへの参入を促す必要がある。</li> <li>・施設・居住系サービス基盤の計画的な整備を推進する必要がある。</li> </ul>				
			サービス利用の公平性・公正性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を開催することで、訪問調査員等の資質向上が図られ、要介護認定の適正化につながった。</li> <li>・引き続き公平公正な認定ができるよう、訪問調査員等の資質向上を図っていく必要がある。</li> </ul>				
				*新任者研修会開催回数	回/年	実績	2回	2回
				*現任者研修会開催回数	回/年	実績	2回	2回
				*県研修会開催回数	回/年	実績	2回	2回
				2 サービス利用者の権利の擁護	相談・苦情体制の充実	<p>相談窓口・専用電話の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度全般に関する相談や苦情に対し、迅速かつ公正に対応するため、専用電話を設置している。</li> </ul> <p>国民健康保険団体連合会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市相談窓口等で受けた利用者等からの苦情について、月次集計を行い定期的に情報提供を実施している。</li> </ul> <p>介護相談員派遣事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の疑問や不安の解消を図るために、利用者事業者の橋渡し役として、介護老人福祉等に対し16人の介護相談員を派遣している。</li> <li>・介護相談員が意欲的に活動展開できるよう、介護サービス事業者や地域包括支援センター等との連携を含む総合的な支援の実施、および新規受入施設の開拓や介護相談員の資質向上を図る必要がある。</li> </ul>		
		*介護相談員派遣回数	回/年	実績	385回	357回		

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					
			指標	単位	項目	H18	H19	
★(1)介護保険事業の推進	4 事業の円滑な実施のための方策	3 低所得者への対応	保険料6段階制の実施					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>所得格差が大きかった旧第2段階を第2段階と第3段階に細分化し、第2段階を第1段階と同じ保険料額に設定することにより低所得者への負担軽減効果を高めた。</li> </ul>					
		4 関係団体との連携	社会福祉法人等利用者負担の減額					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人等による利用者負担軽減制度については、制度の趣旨に鑑み、すべての社会福祉法人の協力が得られるよう、働きかけを行っていく必要がある。</li> </ul>					
				*対象者数	人/年	実績	122人	82人
		民生委員・児童委員協議会との連携						
		(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターを中心に、自治会役員・民生委員・児童委員など地域の状況を十分に把握している機関と連携し、高齢者等の多様なニーズに的確に対応できるような仕組み作りの一環として「地域会議」を実施している。</li> <li>地域会議については、日常生活圏域毎に開催回数異なるなど内容に偏りがあることから、生活圏域毎に積極的な開催が行われるよう、働きかけを行っていく必要がある。</li> </ul>						
		ボランティア・NPO団体との連携						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会内にボランティアセンターを設置し、「ボランティア養成講座」の開催や、「出前福祉講座」の実施など、育成支援を行っている。</li> <li>福祉分野以外のボランティアなどと総合的な連携が必要である。</li> </ul>						
		社会福祉協議会との連携						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「総合相談センター」を設け、保健師や看護師による看護・介護に関する特別相談等を実施している。</li> <li>社協を中心とした総合的な地域福祉活動推進体制の整備が必要である。</li> </ul>						
		保健・医療関係団体との連携						
<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会等関係8団体より介護認定審査会委員推薦に係る協力を得て、円滑な審査会運営を実施している。</li> </ul>								
その他の団体との連携								
<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市老人クラブ連合会や女性団体連絡協議会、自治会連合会などとの連携を図り、住民主体の地域福祉の推進を実施する必要がある。</li> </ul>								

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課	
			指標	単位	項目	H18	H19		
(2) 福祉サービスの充実	① 在宅福祉サービスの充実	生活支援型ホームヘルプサービスの実施	・介護サービスが充実してきたことなどにより、本事業の役割が終了したことから、平成18年度をもって事業を廃止した。	ホームヘルパー派遣世帯数	世帯	目標値 実績 達成率	26 3 11.5%	高 齢 福 祉 課	
		ホームヘルパー延派遣回数	床	目標値 実績 達成率	640 10 1.6%				
		高齢者の軽度生活サポート事業	・平成18年度に事業を見直したことから、利用者は減少している。 ・利用者数の増加を図り継続実施する。	延利用者数	人	目標値 実績 達成率	1,620 923 57.0%	[1,640] 853 [52.0%]	高 齢 福 祉 課
		緊急通報装置の貸与事業の実施	・順調に推移している。 ・平成20年度から、緊急通報機能に相談機能を付加した業務委託に変更し、更なる利用促進を図る。	*緊急通報装置の給付貸与台数	台	実績	66	84	高 齢 福 祉 課
		老人福祉電話事業の実施	・利用者数は減少している。 ・緊急通報システム事業等の類似事業との整理が必要である。						高 齢 福 祉 課
		老人福祉補聴器事業の実施	・順調に推移している。 ・障がい福祉課所管の補聴器交付事業と円滑な連携を図ることにより、申請者の混乱を回避する。						高 齢 福 祉 課
		無料入浴券の実施	・入浴設備充実のため、利用者は減少している。 ・公衆浴場減少による利用低迷している。						高 齢 福 祉 課
		はつり・きゆう・さきゆの補助事業の実施	・保険適用外の治療のため、特に前期高齢者の申請が増加している。 ・使用率向上のための周知を図る必要がある。	*助成交付人数	人	実績	7,615	6,014	高 齢 福 祉 課

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課
			指標	単位	項目	H18	H19	
(2) 福祉サービスの充実	②施設福祉サービスの充実	ケアハウスの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行計画上の目標値に対しほぼ計画どおりであり、20年度目標値に対する50床の不足分については、20年度に整備事業者を募集する松原荘再整備分に組み込まれていることから、概ね順調に整備が進んでいるといえる。</li> <li>・松原荘の再整備については23年度完了が予定であるので、その間の不足分については、地域密着型サービスの推進等で補っていく必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課
		ケアハウスベッド数	床	目標値	350	[400]		
		実績	400	400				
達成率	114.3%	[100.0%]						
②施設福祉サービスの充実	養護老人ホームちとせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者数は、平成18年は98人、平成19年は95人であった。</li> <li>・今後は個人別処遇計画書の更新など、ソフト面の充実を図っていく必要がある。</li> <li>また、新施設が完成するまで、給排水設備や電気設備等の生活必需設備の延命措置を図る必要がある。入居者の生活の質向上のための、バリアフリー設備や施設管理上必要な設備が不備であるため、入所者の生活や身体の安全を確保する必要がある。</li> </ul>					高齢福祉課	
	ちとせ寮ベッド数	床	目標値	110	[110]			
	実績	110	110					
達成率	100.0%	[100.0%]						
②施設福祉サービスの充実	軽費老人ホーム松原荘の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者数は、平成18年30人・平成19年24人であり、各年減少している。これは入所者の高齢化や疾患のため自立が出来なくなり、介護を要する人の退所が増えたためである。一方、当荘の入所要件を満たす入所希望者の減少などが関係しているといえる。</li> <li>・入所者の高齢化に伴い、自立性の維持が困難になりつつある。松原荘の再整備。</li> </ul>					高齢福祉課	
	松原荘ベッド数	床	目標値	50	[50]			
	実績	50	50					
達成率	100.0%	[100.0%]						
(3) 地域保健・福祉体制の推進	①保健の総・医療の推進	地域における保健福祉サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健と福祉に関する総合相談窓口が2箇所増えるとともに、地域において拠点となる施設で新たに提供する保健福祉サービスを計画的かつ着実に実施できていることから、概ね順調に進捗している。</li> <li>・地区行政の検証結果などを踏まえながら、平成16年度から開始した4拠点における保健福祉サービスの地域展開を検証し、今後も市民の視点に立った保健福祉サービスの提供体制を検討していく必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課
	保健と福祉に関する総合相談窓口数	箇所	目標	4	[5]			
	実績	4	6					
達成率	100.0%	[120.0%]						
②地域における福祉サービスの充実	●ひとり暮らし高齢者安心ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし高齢者を見守るための体制づくりに取組んでおり、平成19年度末現在で385自治会で開催しており、順調に推移している。</li> <li>・ひとり暮らし高齢者を見守りに係る取組みや機運の高まりなどに地域間で格差が生じており、市全域に展開できていない状況にある。</li> </ul>					高齢福祉課	
	見守り活動会議を開催した単位自治会の割合	%	目標値	42.4%	[56.5%]			
	実績	46.9%	48.8%					
	達成率	110.7%	[86.4%]					
*ネットワーク設置自治会数	自治会	実績	333	385				
*見守り対象高齢者数	人	実績	290	312				

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課																				
			指標	単位	項目	H18	H19																					
(3) 地域保健・福祉体制の推進	② 地域における福祉サービスの充実	出前保健福祉講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者へのアンケートなどを基に毎年度検証を行うとともに、受講者数が1,000名前後で推移していることから、概ね順調である。</li> <li>受講者の年代や地域、受講団体等に偏りが無いよう、市民に対する周知方法を工夫するとともに、今後も市民の関心の高い講座を積極的に導入していく必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課																				
		社会福祉協議会・福祉協力員との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね順調に推移している。</li> <li>本市において平成20年3月に策定した「第2次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」に沿って、社会福祉協議会が、「地域福祉活動計画」を策定しているところであるが、今後はこの活動計画の着実な推進を支援・指導していく必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課																				
		民生委員・児童委員との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり暮らし高齢者の実態調査をはじめとする地域の実態把握や地域包括支援センターが開催する各種会議等、さまざまな機会を捉え、高齢者支援の観点から連携を図っている。</li> <li>地域における見守り等について、民生委員・児童委員と地域包括支援センターとの役割分担を明確にする必要がある。</li> </ul>					高齢福祉課																				
	③ ボランティア・NPOの活動支援	ボランティア養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ボランティア養成講座を開催し、市民のニーズを汲んだボランティア人材の育成に努めている。また、各々の講座修了者への活動の場・機会の情報提供、連絡調整等を行い、フォローアップ体制の整備を進めている。</li> <li>ボランティア意識の啓発に努め、新たなボランティア人材の確保・育成する。(団塊の世代や学生をターゲットとした取り組みなど。) また、より実践的な講義・実技等を主とし、地域福祉の推進役として活動できる養成講座の内容の検討を行う。</li> </ul>					(社会福祉協議会) 高齢福祉課																				
		ボランティア・NPOの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年増加しており順調に推移している。サポートセンターでは、高齢者福祉を活動分野としている団体の割合は、全登録数の約7%程度で推移している。ボランティアセンターでは、各種ボランティア団体の情報を広く周知し、ボランティアを必要とする人・したい人とのコーディネート、マッチングを行っている。ボランティア活動用機材の整備を図り、活動の充実・促進に取り組んでいる。</li> <li>サポートセンターでは、登録数の増加に伴い、団体の活動を把握することが難しくなっているため、活動履歴を登録シートに記録するなど、活動内容をスタッフ間で共有する仕組みを確立させることで、相談業務の充実を図る必要がある。ボランティアセンターでは、ボランティアに対する理解と認識を広め、より充実したボランティア活動を展開するための支援体制を整える。災害・緊急時等における関連機関等の協働、ボランティアネットワークの整備を行う必要がある。</li> </ul>					高齢福祉課(社会福祉協議会)・みんなでまちづくり課																				
			<table border="1"> <tr> <td>ボランティア登録団体数</td> <td rowspan="3">団体</td> <td>目標値</td> <td>[175]</td> <td>[180]</td> </tr> <tr> <td>【ボランティアセンター+サポートセンター登録団体数】</td> <td>実績</td> <td>624</td> <td>652</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td>[356.6%]</td> <td>[362.2%]</td> </tr> <tr> <td>ボランティア登録個人数</td> <td rowspan="3">人</td> <td>目標値</td> <td>[575]</td> <td>[600]</td> </tr> <tr> <td>【ボランティアセンター+サポートセンター登録個人数】</td> <td>実績</td> <td>233</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td>[40.5%]</td> <td>[50.2%]</td> </tr> </table>	ボランティア登録団体数	団体	目標値	[175]	[180]	【ボランティアセンター+サポートセンター登録団体数】	実績	624	652		達成率	[356.6%]	[362.2%]	ボランティア登録個人数	人	目標値	[575]	[600]	【ボランティアセンター+サポートセンター登録個人数】	実績	233	301		達成率	[40.5%]
ボランティア登録団体数	団体	目標値	[175]	[180]																								
【ボランティアセンター+サポートセンター登録団体数】		実績	624	652																								
		達成率	[356.6%]	[362.2%]																								
ボランティア登録個人数	人	目標値	[575]	[600]																								
【ボランティアセンター+サポートセンター登録個人数】		実績	233	301																								
		達成率	[40.5%]	[50.2%]																								

基本目標3:安心して自立した生活の実現

施策の方向性	施策名	事業名	現状評価及び主な課題					担当課										
			指標	単位	項目	H18	H19											
(4) サービスの質の向上	① 社会福祉法人などのサービス提供事業の育成・支援	社会福祉法人などのサービス提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導監査における法人に対する指摘数は年々減少していることから、確実に改善措置が取られ福祉サービスの向上が図られているといえる。</li> <li>・文書指摘数は減っているものの、現場での指導にとどまる口頭指摘はその数が増加しており、口頭指摘事項の改善も文書指摘同様文書で指導するなど改善して行く必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課										
	② 人材の養成・確保の推進	訪問介護員の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね順調に推移している。</li> <li>・訪問介護員の養成については、利用者の視点に立った質の高いサービスを提供するため、より専門性の高い研修の実施を検討していく必要がある。</li> </ul>					高齢福祉課										
	③ 苦情解決事業の推進	苦情解決事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉全般の事業を対象とした本市独自の苦情解決体制を構築するとともに、職員研修や第三者委員を交えた事例検討会など苦情を未然に予防する取組を着実に進めていることから、概ね順調に進捗している。</li> <li>・本市独自の苦情解決体制を利用した苦情は少ないものの、市長へのメールやふれあい通信などを通じた苦情や要望などが寄せられていることから、引き続き本市の苦情解決事業の周知に努めるとともに、苦情の再発防止策も検討する必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課										
(6) 高齢者の権利擁護の充実	① 成年後見制度の活用	成年後見制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市における申立て件数や実態を的確に把握することは困難であり、宇都宮家庭裁判所の取扱い件数からしか判断できないが、当該制度の利用実績は認知症高齢者の割合からするとときわめて低く、広く市民に定着している状況にないと考えられる。</li> <li>・制度の認知度が低く、制度の活用がされていない。</li> </ul>					高齢福祉課										
	② 地域福祉権利擁護	地域福祉権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々ニーズが増え、相談者・契約者が増加傾向にあるため、自立支援専門員の増員を図り利用の促進に努めている。</li> <li>・生活支援員の確保と資質向上のための研修等への取り組み。ニーズの増加に伴う、効果的・効率的な相談及び支援体制。</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>*契約者数</td> <td>件</td> <td>実績</td> <td>55</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>*専門員数</td> <td>人</td> <td>実績</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table>					*契約者数	件	実績	55	66	*専門員数	人	実績	2	3	(社会福祉協議会) 高齢福祉課
	*契約者数	件	実績	55	66													
*専門員数	人	実績	2	3														
③ 高齢者虐待への対策	地域支援事業(権利擁護)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターは、高齢者の権利擁護を含む虐待の早期発見の重要な役割を担っている。また、平成19年度からは市長合併により25箇所設置となり、さらにセンターの機能の充実に努めている。</li> <li>・職員の資質向上を図ると共に、地域住民や関係機関の更なる理解と協力を得ながら問題可決のために連携できる体制を構築する必要がある。</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>虐待関連相談件数</td> <td>件</td> <td>実績</td> <td>83</td> <td>48</td> </tr> </table>					虐待関連相談件数	件	実績	83	48	高齢福祉課						
虐待関連相談件数	件	実績	83	48														



基本目標4: 快適で安全安心な生活の実現

**基本目標4** **快適で安全安心な生活の実現**

施策の方向性	施策名	事業	現状評価及び主な課題					担当課
			指標	単位	項目	H18	H19	
(1) 公共的施設のバリアフリーの推進	① 公共的施設のバリアフリーの推進	推進 公共建築物のバリアフリーの	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の公共建築物のバリアフリー化は、不特定多数の市民の利用の多い施設を中心に優先順位を付け、手すりや段差解消など利用に不可欠なバリアフリー整備を進めた結果、平成19年度までに91施設の整備が完了し、小中学校・消防署以外の施設については概ね整備が完了した。</li> <li>小中学校については未整備校も多く、今後も障がい児の在籍や児童生徒数を考慮し必要性の高い小中学校から順次整備を進める必要がある。また、利用に不可欠なバリアフリー整備が完了した施設でも、施設の種類や利用形態によっては障がい者用トイレやエレベーターなどの整備が必要などところもあり、建築物の構造や優先性を考慮したうえで計画的に整備を進める必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課
		の推進 ●公園のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行計画上の目標値に対し、各年とも実績は若干上回っており、着実にバリアフリー化が図られている。</li> <li>未整備の公園数が多いことから事業の長期化が予想されるため、効率的かつ継続的に事業を展開しなければならない。</li> </ul>					公園緑地課
		の推進 ●公園のバリアフリー	バリアフリーを図った公園数	公園	目標値	77	[83]	
				実績	82	88		
				達成率	106.5%	[106.0%]		
		民間公共的施設の整備への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間公共的施設のバリアフリー化を推進するうえで、整備費用の助成制度は有効であり、今後も継続していく。</li> <li>民間公共的施設のバリアフリー整備をさらに進めるため、広報紙や市ホームページ等を通し事業者等への周知を一層図る必要がある。また、オストメイト対応トイレの整備を推進する観点などから、補助対象箇所や補助金額についても今後、再検討する必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課
		*バリアフリー整備補助件数	件	実績	9	6		
(2) 交通環境のバリアフリーの推進	② 交通環境のバリアフリーの推進	推進 ●道路のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も整備効果などを十分検討しながら道路の段差解消を図る。</li> </ul>					道路維持課
		の推進 ●道路のバリアフリー	道路の段差解消箇所数	箇所	目標値	1,026	[1,226]	
					実績	1,836	1,984	
				達成率	178.9%	[161.8%]		
	スーパーステップバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度までに導入率30%を目指しており、毎年計画的に導入している。</li> <li>導入にあたっては、バス事業者の経営状況に左右されるため、計画的に進むよう、県及び市の支援が必要である。</li> </ul>					交通政策課	
		ノンステップバス導入台数	台	目標値	30	[38]		
				実績	25	42		
				達成率	83.3%	[110.5%]		
	進の交通リニアの周	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR宇都宮駅（平成16年）及び東武宇都宮駅（平成17年度）のバリアフリー整備に対する補助を行った。</li> <li>改札口から駅前広場までの間のバリアフリー化については、整備が完了したが、利便性向上に向けてさらに改善の必要がある。</li> </ul>					(道)交通政策課	

基本目標4: 快適で安全安心な生活の実現

施策の方向性	施策名	事業	現状評価及び主な課題					担当課										
			指標	単位	項目	H18	H19											
(2) こころのバリアフリーの推進	① こころのバリアフリーの推進	情報提供の推進 ●広報紙等の活用した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙(誌)や市ホームページへの掲載、リーフレット等の配布を通して、高齢者に係る様々な制度の周知や啓発記事、生活関連情報・各種イベント情報等を市民に分かりやすい形で提供している。</li> <li>・市民が必要とする時に適切な情報が簡単に入手できるように、多様な情報媒体を効果的に用いながら誰もが分かりやすい情報の提供に努めるとともに、高齢者や聴覚・視覚障がい者等が必要な情報を得られず不利益を被ることのないよう、コミュニケーション手段の充実を図り、情報のバリアフリー化を一層推進する必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課										
		市民福祉のつどい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から、「福祉まつり」と合同となり「市民福祉の祭典」として実施しており、より一体的な福祉活動となった。</li> <li>・「市民福祉の祭典」として初回となった昨年度よりも、一層の一体感をもたせる必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課										
		福祉のまちづくり表彰の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度から「市民福祉の祭典」において表彰している。</li> <li>1号表彰については、福祉の各分野の功労者を表彰しており、これを契機に、より一層の福祉の増進に貢献していただけることや福祉に携わる方々の励みになることが期待される。</li> <li>2号表彰については、施設部門は18年度・19年度と該当施設がなく伸び悩んでいるが、活動部門の応募数及び被表彰者数が年々増加しており、市民への周知が次第に広まり、市民意識も高まって来ていると捉えられ、一定の効果を挙げていると評価できる。</li> <li>・1号表彰については、表彰要件を満たし、他の模範となる候補者を引き続き幅広く選出し表彰する必要がある。</li> <li>2号表彰については、例年、施設部門の応募が少なく、施設部門の応募を如何に増やすかが課題である。また、活動部門については、先駆的な模範事例となる活動に重点を置いた募集が行えるよう、周知方法について検討する必要がある。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>*1号被表彰者</td> <td>件</td> <td>実績</td> <td>63</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>*2号被表彰者</td> <td>件</td> <td>実績</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </table>					*1号被表彰者	件	実績	63	59	*2号被表彰者	件	実績	4	8	保健福祉総務課・生活福祉課
		*1号被表彰者	件	実績	63	59												
		*2号被表彰者	件	実績	4	8												
福祉都市宣言の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉都市宣言の具現化を目指し、20年3月に「第2次やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」を策定したところであり、今後はこの計画に基づき福祉都市宣言の理念の周知が一層図られるよう、市民意識の啓発などの各種施策を推進していく。</li> <li>・福祉都市宣言の理念の具現化には、市民意識の高揚が欠かせないことから、こころのバリアフリーなど市民の意識面に対する働きかけを積極的・効果的に行う必要がある。また、福祉のこころの醸成には幼少期からの啓発が重要であり、中長期的な展望に立った計画的な取組が必要である。</li> </ul>					保健福祉総務課												
福祉とのまちづくり推進協議会の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度まで市から交付金を出していたが、平成18年度からは協議会と市が共同作成する「心のバリアフリーハンドブック」の印刷代のみ市が負担し、自立化を図っているが、まだ暫くは支援が必要な状態である。また、「第2次福祉のまちづくり推進計画」に基づく推進を図るうえでも、今後も連携に努める必要がある。</li> <li>・福祉のまちづくりの民間リーダー組織として主体的な事業展開ができるよう協議会事務局の機能向上と構成団体の意欲向上を図り、民間ならではのノウハウと組織力を生かした効率的・効果的な啓発活動が行えるよう連携・支援のあり方を検討する必要がある。</li> </ul>					保健福祉総務課												

基本目標4: 快適で安全安心な生活の実現

施策の方向性	施策名	事業	現状評価及び主な課題					担当課	
			指標	単位	項目	H18	H19		
(2) こころのバリアフリーの推進	② 福祉教育の推進	的地域推進 学から習の学びの時間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの学校で、総合的な学習の時間において、老人ホームの訪問や高齢者とのレクリエーション活動など、地域高齢者との交流活動を取り入れた単元を設定し実践している。</li> <li>高齢者との交流活動が数多く実践されており、推進上の大きな課題は特にないが、今後は、実践後に児童生徒間で意見や感想等を交流させ、高齢者に対する考え方・見方を深めていく必要がある。</li> </ul>					学校教育課	
		推進を事業の展開活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校においては、地域の実情に合わせ、「総合的な学習の時間」や「学校行事」等を生かし、児童生徒が、教師、保護者、地域の人々、高齢者等と共にかかわる中で、体験を積み重ねながら「心の育成」の強化を図り、今後の社会をになう人間育成を目指している。</li> <li>各学校の特色や地域性に応じた体験活動を実施することを通して、思いやりの心や集団・社会生活に必要な規範意識などを学び、この体験活動が今後の生き方に生かせるよう実践していく必要がある。</li> </ul>					学校教育課	
		出前福祉講座の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校をはじめ、企業・地域における出前福祉講座の開催が浸透してきており、児童・生徒および市民の福祉に対する普及啓発・意識向上に効果を上げている。地域の文化祭・福祉まつり等における福祉体験講座については、地区社協を核として住民の協力を得ながら開催することで、住民同士での活動によってより福祉への理解が深まってきている。</li> <li>福祉体験をすることを目的とするのではなく、さらに講座における福祉理解のテーマをどこに置くかなど、より福祉への理解を深めるための基本プログラムの提案の検討を行う。講座で学んだ福祉体験をいかに日常の活動に繋げるかといった地域社会の中での福祉関連の連携強化を行う。</li> </ul>					(社会) 高齢福祉協議会	
			*開催回数	件	実績	184	232		
(3) 安全で安心な暮らしの確保	① 高齢者の事故防止の推進	通高 安全 教育 に対する 実施交 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>県、県警と協力し新たに高齢者の自転車教室や高齢運転者講習等を開始したが、高齢者の交通安全教室の受講者は漸次減少している。</li> <li>平成19年中の交通事故死者数の約半数が高齢者であり、また歩行中及び自転車乗車中に死亡した高齢者は10人であったが、そのいずれもが自動車運転免許を所持していなく、また交通安全教室の受講歴もなかったことから、このような高齢者を中心として受講者を増加させる方策を講じる必要がある。</li> </ul>					生活安心課	
		進広 報啓 発活 動の推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動の重点項目に高齢者の交通事故防止を掲げ、各種広報を行ってきた。</li> <li>改正道路交通法が施行され、75歳以上の高齢運転者に高齢運転者標識の表示が義務付けられたことなどから、普及を図るため表示義務に係る広報を積極的に行うほか、一般ドライバーの高齢運転者標識を表示した車両に対する幅寄せ禁止など保護義務があることに関しても広報を行っていく必要がある。</li> </ul>					生活安心課	
		供消 費生 活情 報の提 供	<ul style="list-style-type: none"> <li>市広報紙、ホームページによる情報提供のほか、合併した旧2町地域や中心市街地における街頭啓発活動を実施したことや、出前講座の開催数も増やしていることから、情報の受け手が増加している。</li> <li>消費生活情報に興味関心を持たない消費者にも情報提供を図る必要がある。</li> </ul>					生活安心課	
			*出前講座開催回数	件	実績	26	43		
			*受講者数	人	実績	1,310	1,635		
		実談消 費生 活情 報の充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門相談員の増員（平成18年度7名、平成19年度14名、平成20年度から16名）、センター移転に伴い年末年始を除く毎日相談を受付開始、平成20年度から相談受付とともに（平日 17:30まで、土日祝日 16:30まで）を実施し体制の充実を図った。</li> <li>相談受付に係る関係部署、関係機関との連携をさらに強化する。</li> </ul>					生活安心課	

基本目標4: 快適で安全安心な生活の実現

施策の方向性	施策名	事業	現状評価及び主な課題					担当課
			指標	単位	項目	H18	H19	
(3) 安全で安心な暮らしの確保	推進③ 防犯に対する啓発・教育の	防犯講習会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に自治会や老人会を対象に講習会を開催し、防犯意識の高揚と防犯力の向上が図られている。特に高齢者に対しては、高齢者用の防犯ハンドブックを用意するなどしており、受講者から好評を得ている。</li> <li>平成18年度から実施している事業であることから、今後より多くの新規受講者を獲得するため、周知を強化する必要がある。</li> </ul>					生活安心課
			*防犯講習会開催回数	件	実績	95	98	
			*受講者数	人	実績	3,810	3,767	
(3) 安全で安心な暮らしの確保	④ 防災対策の強化	災害時における支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の理解と協力を得ながら、災害発生時に避難誘導や安否確認を行う地区支援班の設置に取り組んでおり、概ね順調に進捗している。</li> <li>地区支援班を連合自治会を単位とする39地区に設置することとしているが、地区により取り組み状況等に差異があることから、39地区一斉設置が困難な状況にある。</li> </ul>					高齢福祉課
		地域における自主防災組織の育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向け徐々にではあるが推移している。今後も積極的に「宇都宮市防災市民ネットワーク整備指針」の推進を図り、地域のネットワークづくりや様々な地域課題の解決に取り組む。</li> <li>本市は災害が少ないことから、市民の防災意識が全体的に低いので、自主防災活動の意義と必要性について市民に広く広報し、活動への積極的な参加を呼び掛ける。</li> <li>地区によって防災に対する考え方や取組みに差があるので、防災上の地域課題の解決を通じ、意識の高揚と活動の活性化を図る。</li> <li>災害時における課題は日常の地域課題の延長線上にあるということへの理解が少ないため、行政施策と地域ニーズとが整合していないので、「安心・安全なまちづくり」の視点から地域課題を捉え直し、整合性を図っていく必要がある。</li> </ul>					
(4) 高齢者にやさしい居住環境の整備	機能① 住宅改修等に関する相談の充実	住宅改修等に関する相談機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅改修申請は、平成18年度は1,184件、平成19年度は923件。周知活動として、広報紙(平成18年度2回、平成19年度1回)、市ホームページ、介護の手引書への掲載、認定申請時の事業所名簿の配布を行っている。また、各年度、約1,000件程の介護保険の住宅改修等に係る申請について、介護支援専門員等に相談のうえ、住宅改修の手続きがスムーズに行われている。</li> <li>要介護者等から住宅改修等の申請ができないなどの相談や苦情は無いが、今後も住宅改修が必要な方の申請漏れが無いよう、引き続き住宅改修等に係る事業の周知活動に努める必要がある。</li> </ul>					高齢福祉課
	環境② 高齢者にやさしい住環境整備事業の充実	●高齢者にやさしい住環境整備補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は伸び悩んでいる。</li> <li>事業者や制度利用者への介護保険住宅改修費と当事業との関係性の周知に努める。</li> </ul>					
			高齢者にやさしい住環境整備補助件数(累計)	件	目標値	66(467)	67(534)	
					実績	35	35	
					達成率	53.0%	52.2%	

基本目標4: 快適で安全安心な生活の実現

施策の方向性	施策名	事業	現状評価及び主な課題					担当課
			指標	単位	項目	H18	H19	
(4) 高齢者にやさしい居住環境の整備	グ③ 高齢者世話付き住宅（シルバーハウジング）の充実	シルバーハウジングの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね順調に推移している。</li> <li>市営住宅の建替え等に併せ整備するため、計画的な建替え等ができるよう関係機関等との調整を図る必要がある。</li> </ul>					住宅課
		生活援助員派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における見守り等について、民生委員・児童委員と地域包括支援センターとの役割分担を明確にする必要がある。</li> <li>地域包括支援センターを受託する法人に業務を委託しているが、地域包括支援センターの担当区域と合致しない法人が出現してきており、事業の委託先を再検討する必要がある。また、生活援助員の役割や緊急時の対応について整理する必要がある。</li> </ul>					
		シルバーハウジング整備戸数	戸	目標値	64	[72]		
				実績	64	72		
				達成率	100.0%	[100.0%]		

# ○河内町高齢者保健福祉計画実績評価表

参 考

施策名	事業名	指標名	単位	計画見込値 (H18)	実績 (H18)	達成率 (%)
保健サービスの推進	健康手帳の交付と活用	健康手帳の交付（新規交付数）	個	724	116	16.0%
	健康教育の実施	集団健康教育	回	37	36	97.3%
		個別健康教育（延べ人数）	人	30	31	103.3%
	健康相談の実施	総合健康相談	回	242	245	101.2%
		重点健康相談	回	22	17	77.3%
	健康診査	65歳未満対象者数	人	5,787	4,079	70.5%
		65歳未満受診者数	人	3,790	2,272	59.9%
		65歳以上対象者数	人	5,583	5,459	97.8%
		65歳以上受診者数	人	1,400	1,660	118.6%
	訪問指導の実施	訪問指導実人数	人	82	51	62.2%
		訪問指導延べ回数	回	160	70	43.8%
	機能訓練	A型実施箇所数	箇所	1	1	100.0%
A型参加延べ数		人	300	266	88.7%	
福祉サービスの推進	高齢者自立支援事業	自立支援訪問介護事業	回	169	17	10.1%
		自立支援通所介護事業	回	180	33	18.3%
		自立支援短期入所事業	日	7	0	0.0%
	軽度生活援助事業	利用者数	人	145	140	96.6%
		延べ利用回数	回	817	544	66.6%
	愛の訪問、「食」の自立支援事業	食の自立支援事業利用者数	人	20	25	125.0%
		配食数	食	2,000	1,444	72.2%
	寝具洗濯乾燥消毒サービス	利用者数	人	22	16	72.7%
		延べ利用回数	回	40	16	40.0%
	外出支援サービス（福祉タクシー助成事業）	利用者数	人	37	27	73.0%
		延べ利用回数	回	746	626	83.9%
	出張理美容サービス	利用者数	人	17	17	100.0%
		延べ利用回数	回	61	52	85.2%
	緊急通報装置	設置者数	人	71	72	101.4%

○旧河内町の高齢者保健福祉計画（第3期介護保険事業計画）上で目標値の設定のあった事業を掲載しています。

# ○上河内町高齢者保健福祉計画実績評価表

参

1	生きがいある元気な高齢者になるために、元気な高齢者でいるために
---	---------------------------------

施策名	事業名	指標名	単位	目標値 (H18)	実績 (H18)	達成率
健康づくりの推進	健康手帳の交付	医療受給対象者への交付者数	人	5	18	360.0%
		40歳以上で医療受給者以外への交付者数	人	120	47	39.2%
	健康診査	基本健康診査受診率	%	56.5%	62.3%	110.3%
		生活機能評価受診率	%	75.7%	0.0%	0.0%
		歯周疾患検診受診者数	人	0	0	0.0%
		骨粗しょう症検診受診者数	人	105	141	134.3%
		肝炎ウイルス検診受診者数	人	240	197	82.1%
		健康度評価事業	人	5	0	0.0%
		胃がん検診受診率①	%	23.5%	21.9%	93.2%
		〃受診人数②	人	560	647	115.5%
		肺がん検診受診率①	%	31.6%	28.2%	89.2%
		〃受診人数②	人	830	950	114.5%
		大腸がん検診受診率①	%	27.4%	23.5%	85.8%
		〃受診人数②	人	710	803	113.1%
		乳がん検診受診率①	%	29.0%	29.8%	102.8%
		〃受診人数②	人	500	515	103.0%
		子宮がん検診受診率①	%	21.1%	23.3%	110.4%
		〃受診人数②	人	490	522	106.5%
	元気アップ教室	延べ利用者数	人	240	117	48.8%
		実施回数	回	12	5	41.7%
	健康相談	重点健康相談開催回数	回	14	33	235.7%
		重点健康相談延べ人数	人	85	115	135.3%
		総合健康相談開催回数	回	58	44	75.9%
		総合健康相談延べ人数	人	1,360	271	19.9%
	健康教育	個別健康教育被指導実人数	人	0	9	0.0%
		集団健康教育開催回数	回	35	34	97.1%
	機能訓練	機能訓練A型延べ人数	人	20	0	0.0%
		機能訓練A型実施箇所数	箇所	1	0	0.0%
	訪問指導	訪問指導被指導人数	人	150	137	91.3%
		訪問延べ回数	回	300	141	47.0%
生活の支援	緊急通報装置貸与事業	設置台数	台	40	33	82.5%
	生活支援ヘルプ事業	延べ利用回数（元気高齢者）	人	24	3	12.5%
		延べ利用回数（虚弱高齢者）	回	24	0	0.0%

<b>2</b>	<b>虚弱な状態でも自立していただけるために</b>
----------	----------------------------

施策名	事業名	指標名	単位	項目	H18	H19
生活の支援	移送サービス事業	利用実人数	人	目標値	25	25
				実績	37	34
				達成率	148.0%	136.0%
		延べ利用回数	人	目標値	600	600
				実績	148	113
				達成率	24.7%	18.8%
	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	延べ利用回数	回	目標値	10	-
				実績	0	-
				達成率	0.0%	-
	配食サービス	延べ配食数	食	目標値	1,320	1,320
実績				1,197	854	
達成率				90.7%	64.7%	

<b>3</b>	<b>介護が必要な状態でも安心して過ごすために</b>
----------	-----------------------------

施策名	事業名	指標名	単位	目標値	H18実績	達成率
生活の支援	高齢者紙おむつサービス事業	延べ利用回数	回	330	312	94.5%
	理髪料金助成事業	延べ利用者数	人	154	141	91.6%

○旧上河内町の高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）上で目標値の設定のあった事業を掲載しています。